

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第47週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (47週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。

4 類感染症：つつが虫病 3 例。

5 類感染症：ウイルス性肝炎 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例、

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例、播種性クリプトコックス症 1 例、百日咳 5 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	肺結核	咳
			50歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	肺結核	胸痛
			80歳代	女	肺結核	痰
4類	つつが虫病	都城	60歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
		小林	50歳代	男	—	発熱、刺し口
			80歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	20歳代	男	B型	全身倦怠感、発熱、肝機能異常、黄疸
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	20歳代	男	無症状病原体保有者	—
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	宮崎市	0~4歳	女	—	菌血症
	播種性クリプトコックス症	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、呼吸器症状、胸部異常陰影、中枢神経系病変
	百日咳	宮崎市	0~4歳	女	—	持続する咳
			5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
日向			5~9歳	男	—	夜間の咳き込み
			5~9歳	女	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 679 人(定点当たり 18.2)で、前週比 128%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと水痘で、減少した疾患はなかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

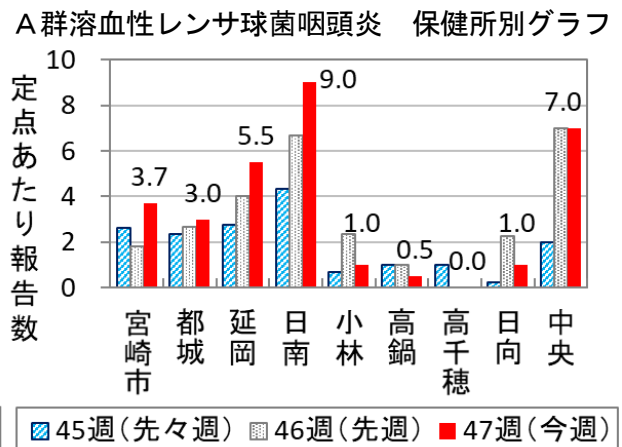
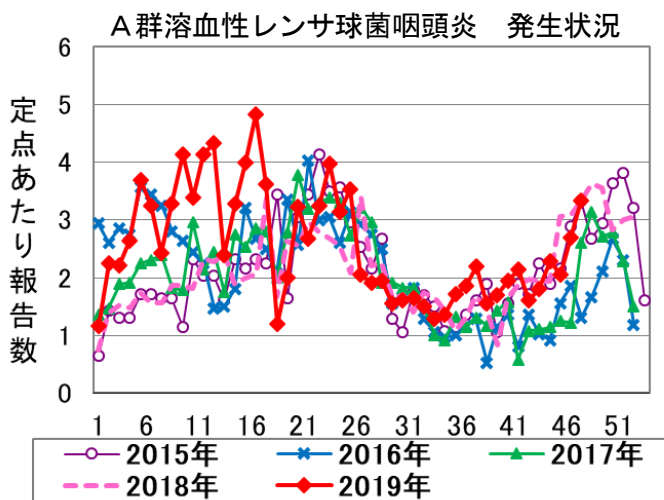
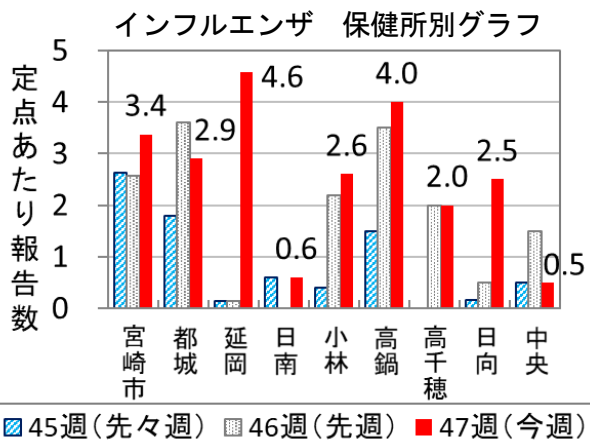
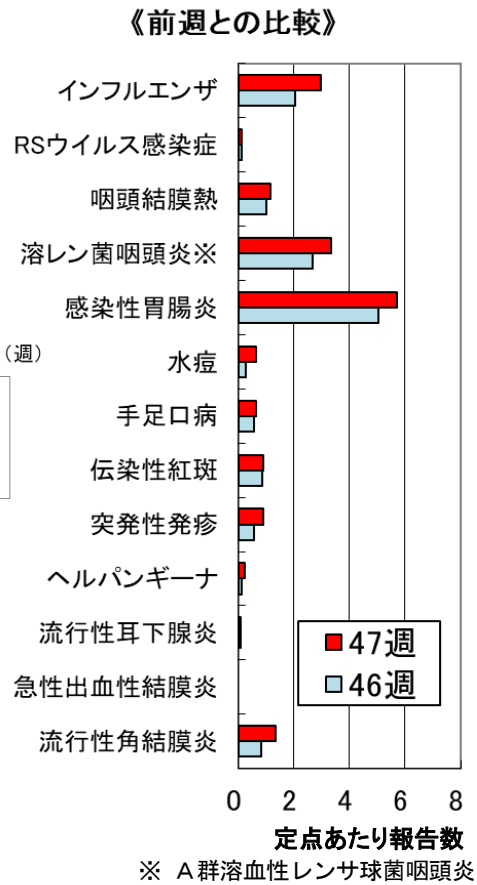
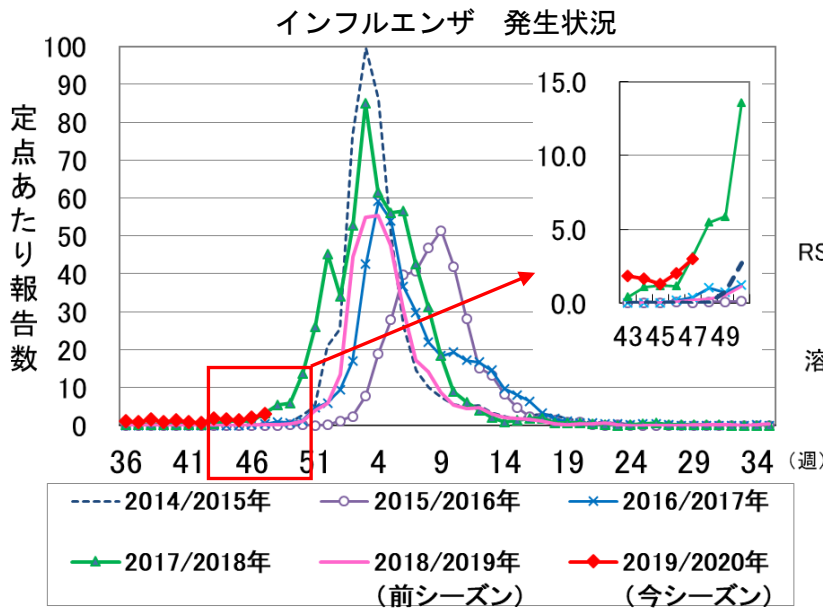
【インフルエンザ】

報告数は 175 人(3.0)で、前週比 146%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (0.83)の約 3.6 倍である。延岡(4.6)、高鍋(4.0)、宮崎市(3.4)保健所からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 120 人(3.3)で、前週比 124%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (2.4)の約 1.4 倍である。日南(9.0)、中央(7.0)、延岡(5.5)保健所からの報告が多く、年齢群別では 4~6 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所から1例報告があり、0～4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	水痘(1.4)
都城	なし
延岡	伝染性紅斑(3.3)
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)、 水痘(1.7)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)

* 流行注意報レベル基準値 *

- ・水痘(1.0)

🇯🇵 全国 2019 年第 46 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 46 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	300 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	62 例	パラチフス	2 例
4類感染症	E 型肝炎	6 例	A 型肝炎	6 例	回帰熱	1 例
	つつが虫病	21 例	デング熱	8 例	日本紅斑熱	6 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	28 例	レプトスピラ症	1 例
5類感染症	アメーバ赤痢	14 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	31 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14 例	後天性免疫不全症候群	11 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	58 例
	水痘（入院例）	8 例	梅毒	77 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	230 例	風しん	3 例
	麻しん	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 123%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は 9,107 人(1.8)で前週比 179%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.67)の約 2.8 倍である。北海道(4.6)、秋田県、鹿児島県(各 3.7)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 6 割を占めている。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 8,190 人(2.6)で前週比 145%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(2.3)の約 1.1 倍である。佐賀県(5.6)、山形県(5.4)、新潟県(4.9)からの報告が多く、年齢群別では 4~7 歳が全体の約半数を占めている。 * 過去 5 年間の当該週、前週後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第47週(11月18日～11月24日)

疾病名		第46週	第47週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	120	175	54	29	32	3	13	24	4	15	1
	定点当り	2.03	2.97	3.38	2.90	4.57	0.60	2.60	4.00	2.00	2.50	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	4	4	1	1	1	1					
	定点当り	0.11	0.11	0.10	0.17	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	36	42	16	17	2		1	3		3	
	定点当り	1.00	1.17	1.60	2.83	0.50	0.00	0.33	0.75	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	97	120	37	18	22	27	3	2		4	7
	定点当り	2.69	3.33	3.70	3.00	5.50	9.00	1.00	0.50	0.00	1.00	7.00
感染性胃腸炎	報告数	181	206	24	45	10	26	28	28	1	39	5
	定点当り	5.03	5.72	2.40	7.50	2.50	8.67	9.33	7.00	1.00	9.75	5.00
水痘	報告数	10	23	14	1	2	5	1				
	定点当り	0.28	0.64	1.40	0.17	0.50	1.67	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	20	23	10	1	5	1	5	1			
	定点当り	0.56	0.64	1.00	0.17	1.25	0.33	1.67	0.25	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	31	33	7	9	13			2		2	
	定点当り	0.86	0.92	0.70	1.50	3.25	0.00	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
突発性発しん	報告数	21	33	6	3	9	5	3	3		3	1
	定点当り	0.58	0.92	0.60	0.50	2.25	1.67	1.00	0.75	0.00	0.75	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	5	8	1	2	1		4				
	定点当り	0.14	0.22	0.10	0.33	0.25	0.00	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	3			2		1				
	定点当り	0.08	0.08	0.00	0.00	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	8	3	4	1						
	定点当り	0.83	1.33	1.00	2.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～47週)

2類感染症	結核	182例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	41例	腸チフス	1例
	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例
4類感染症	チクングニア熱	1例	つつが虫病	14例(3)
	日本紅斑熱	8例	レジオネラ症	8例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	4例(1)
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	5例(1)
	侵襲性肺炎球菌感染症	11例	水痘(入院例)	1例
	播種性クリプトコックス症	2例(1)	破傷風	2例
風しん	1例	麻しん	1例	
			重症熱性血小板減少症候群	8例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	13例
			クリプトスポリジウム症	1例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例(1)
			梅毒	18例
			百日咳	295例(5)

()内は今週届出分、再掲